

環境活動レポート

香取バイオマスプラント株式会社



(2023年5月1日～2024年4月30日)

2024年5月30日 発行

代表取締役社長	環境管理責任者
石川一重	佐野友洋

1. 事業の概要

(1) 事業所名

香取バイオマスプラント株式会社

(2) 代表者

石川 一重

(3) 所在地

事業所：〒289-0408 千葉県香取市神生1263番地

(4) 法人設立年月日

2015年 01月09日

(5) 資本金 30万円

(6) 事業の内容

廃木材（廃パレット、解体木材、伐採木材、建築木材）の再生チップ
及びおがこの製造販売

(7) 対象範囲 （認証・登録の対象組織・活動）

登録組織名 香取バイオマスプラント株式会社

対象事業所 本社

事業活動 再生資源（廃木材）の買取・破碎選別・チップ及びおが粉の販売

(8) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者： 佐野 友洋

Tel: 0479-78-5658 Fax: 0478-78-5508

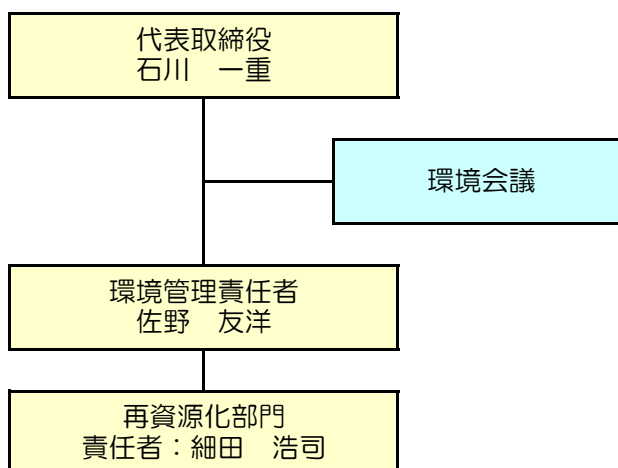
E-mail:sano.katoribiomass@gmail.com

(9) 組織図（対象範囲）

人員配置

	再資源化部門
正社員	2
パート・派遣	3
合計	5

※兼務職員（社員）なし



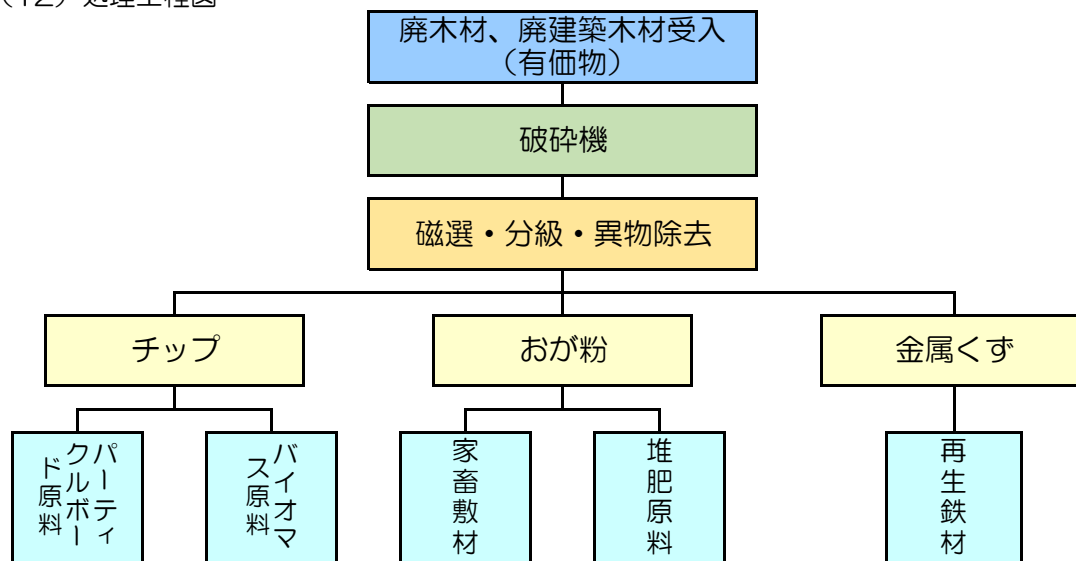
(10) 役割・責任

担当者	役割・責任・権限
代表者	- 環境経営方針の決定 - 経営における課題とチャンスの明確化 - マネジメントレビューの実施 - 環境管理責任者の任命 - 必要な資源の投入
環境管理責任者	- 環境経営システムの確立 - 教育・訓練、緊急事態対応テストの連絡等 - 環境経営システムの実施等 - EA21の活動状況まとめ
各部門	- 環境経営計画の実施 - 是正処置、予防処置の実施 - 月別部門データの集計等
環境会議	- 環境マネジメントに関する審議 - 環境目標、活動計画に関する審議等

(11) 事業規模

項目	(2021年5月 ～2022年4月)	(2022年5月 ～2023年4月)	(2023年5月 ～2024年4月)
売上高(百万円)	30	50	30
従業員(人)	5	5	5
事務所床面積(m ²)	38.88	38.88	38.88
敷地面積(駐車場含む)(m ²)	9,322	9,322	9,322

(12) 処理工程図



香取バイオマスプラント(株) 処理工程図

(12) 生産実績

再生資源	2021年度 2021.5～2022.4	2022年度 2022.5～2023.4	2023年度 2023.5～2024.4
チップ	13,564	15,623	19,230
おが粉	1,085	968	1,069
金属くず	92	92	104
合計	14,741	16,683	20,403

(単位 t)

(13) 車両

車両形式	台数
油圧ショベル	1
ショベルローダー	1
合計	2

2. 環境経営方針



環境経営方針

〈基本理念＝資源循環型社会への貢献〉

香取バイオマスプラント株式会社は、廃棄物となる廃木材、廃建設木材等を有価物として受け入れ、再利用可能な再資源化する事業に取り組み、資源循環型社会へ貢献する企業を目指します。

さらに事業活動を積極的に行い、これまで廃棄物として焼却処分される廃木材を有価物として受け入れることにより、化石燃料の使用量削減及び廃棄物の低減につなげます。

また、法令を遵守し、地域社会において信頼される企業を目指すと共に、事業を通じてサステナブルな社会の構築に寄与し、SDGsにも貢献します。

〈行動方針〉

香取バイオマスプラント株式会社は、下記の項目について、自主的かつ積極的に取り組み環境経営システムを構築し継続的な改善に努めます。

1. 構内の処理作業を効率的に行い、経由等の削減に努めます。
2. 再資源受入量の拡大、チップ及びおが粉の生産量拡大
3. 事務所及び構内の電気使用量を適切に管理し、削減に努めます。
4. 節水により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に関連する法規制及び当社が約束した要求事項を遵守します。
6. 事業活動を通じてSDGsに貢献します。
7. 環境経営方針及び環境経営活動を全従業員へ周知します。

2024年5月30日改訂

香取バイオマスプラント株式会社

代表取締役 **石川 一重**



3. エコアクション21活動とSDGsの関連性

弊社のE A 21 活動（行動指針）とSDGs 17目標との関連性を下記に示します。



GOAL 6：全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続的な管理を確保する

行動指針 3. 節水により水使用量の削減に努めます。

- 【取組例】
- ・節水教育と周知徹底による水使用量の削減
 - ・適正使用の周知徹底による水使用量の削減



GOAL 7：全ての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

行動指針 1. 構内の処理作業を効率的に行い、軽油等の削減に努めます。

4. 事務所及び工場内の電気使用量を適正に管理し、削減に努めます。

- 【取組例】
- ・重機作業の効率化の実施
 - ・空ふかしの禁止
 - ・破碎機の効率運転
 - ・不必要な照明の消灯
 - ・エアコン温度設定の適温化



GOAL 12：持続可能な生産消費形態を確保する

行動指針 2. 資源循環利用量の拡大を目指します。

- 【取組例】
- ・廃木材（有価物）の受入量の拡大
 - ・破碎機の効率的運用による生産性の向上



GOAL 13：気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

行動指針 1. 構内の処理作業を効率的に行い、軽油等の削減に努めます。

4. 事務所及び工場内の電気使用量を適正に管理し、削減に努めます。

- 【取組例】
- ・重機作業の効率化の実施
 - ・空ふかしの禁止
 - ・破碎機の効率運転



GOAL 14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

行動指針 2. 資源循環利用量の拡大を目指します。

- 【取組例】
- ・廃木材の受入量の拡大
 - ・破碎機の効率的運用による生産性の向上

4. 環境経営目標（3ヶ年）

環境経営方針	環境経営目標	年度	目標・達成手段又は環境活動		
			2022年度	2023年度	2024年度
			2022年5月1日～2023年4月30日	2023年5月1日～2024年4月30日	2024年5月1日～2025年4月30日
二酸化炭素排出量の削減	1 電力使用量の削減 ※基準値 1,390kwh/月 (16,680kwh/年)	目標	1%削減 1,376kWh/月 (16,512kWh/年)	2%削減 1,362kWh/月 (16,344kWh/年)	3%削減 1,348kWh/月 (16,176kWh/年)
		達成手段	①不必要照明の消灯 ②エアコン温度の適温化	①不必要照明の消灯 ②エアコン温度の適温化	①不必要照明の消灯 ②エアコン温度の適温化
	2 軽油使用量の削減 ※基準値 10,868ℓ/月 (130,416ℓ/年)	目標	1%削減 (10,759kℓ/月) (129,108kℓ/年)	2%削減 (10,651kℓ/月) (127,812kℓ/年)	3%削減 (10,542kℓ/月) (126,504kℓ/年)
		達成手段	①重機作業の効率化 ②空ふかしの禁止 ③破碎機の効率運転	①重機作業の効率化 ②空ふかしの禁止 ③破碎機の効率運転	①重機作業の効率化 ②空ふかしの禁止 ③破碎機の効率運転
	* 二酸化炭素排出量の削減 ※基準値 346,333kg-CO ₂ /年	目標	1%削減 (28,573 kg-CO ₂ /月) 342,870kg-CO ₂ /年	2%削減 (28,284kg-CO ₂ /月) 339,406kg-CO ₂ /年	3%削減 (27,995kg-CO ₂ /月) 335,943kg-CO ₂ /年
		達成手段	上記1,2の削減活動を以って達成する	上記1,2の削減活動を以って達成する	上記1,2の削減活動を以って達成する
資源循環利用の拡大	3 廃木材、廃建築木材（有価物）の受入量の拡大 ※基準値 969t/月 (11,628t/年)	目標	1%拡大 (979t/月) (11,748t/年)	2%拡大 (988t/月) (11,856t/年)	3%拡大 (998t/月) (11,976t/年)
		達成手段	①新規顧客の獲得 ②事業の積極的なPR	①新規顧客の獲得 ②事業の積極的なPR	①新規顧客の獲得 ②事業の積極的なPR
水使用量の削減	4 水使用量を削減する（構内の地下水使用量を削減する） ※基準値 61.0m ³ /月 (732.0m ³ /年)	目標	1%削減 (60.4m ³ /月) (724.8m ³ /年)	2%削減 (59.8m ³ /月) (717.6m ³ /年)	3%削減 (59.2m ³ /月) (710.4m ³ /年)
		達成手段	①節水教育の実施 ②適正使用	①節水教育の実施 ②適正使用	①節水教育の実施 ②適正使用
自社で発生する廃棄物排出量の削減	5 事務所ごみを削減する 基準値：130kg/月 (現状維持に努める)	目標	現状維持(130kg/月)	現状維持(130kg/月)	現状維持(130kg/月)
		達成手段	①分別基準遵守の徹底 ②書類のペーパーレス化 ③裏紙の再利用	①分別基準遵守の徹底 ②書類のペーパーレス化 ③裏紙の再利用	①分別基準遵守の徹底 ②書類のペーパーレス化 ③裏紙の再利用

* 二酸化炭素排出量の削減目標は3の改善目標が受入量拡大であるので、軽油使用量が増加方向となる。そのため、二酸化炭素排出量の目標値は参考値とする。

※基準値は2021年度実績平均値に3σ（標準偏差）分を加減した数値を基準値とした。

5. 2023年度環境負荷の実績（2023年5月1日～2024年4月30日）

NO	環境経営目標項目	単位	2023年度目標	2023年度実績値	目標比 (%)	※評価
				(2023年5月1日～2024年4月30日)		
1	電力使用量の削減	kwh	1,362 kwh/月以下 (16344kwh/年以下)	平均 1,090 kwh/月 (13,075 kwh/年)	20.0%削減	○
2	軽油使用量の削減	kℓ	10,651 kℓ/月以下 (127,812kℓ/年以下)	平均 10,403 kℓ/月 (124,830ℓ/年)	2.3%削減	○
*	二酸化炭素排出量 ^{注)}	kg-CO ₂	28,284 kg-CO ₂ /月以下	平均 26,770 kg-CO ₂ /月	3.3%削減	○
	二酸化炭素総排出量		339,406 kg-CO ₂ /年以下	328,304 kg-CO ₂ /年		
3	廃木材、廃建築木材 (有価物)の受入量の拡大	t	988 t/月以上 (11,856 t/年以上)	平均 1,531 t/月 (18,373 t/年)	55.0%拡大	○
4	水使用量の削減	m ³	59.8 m ³ /月以下 (717.6m ³ /年)	平均 53.0 m ³ /月 (632.0m ³ /年)	11.9%削減	○
5	事務所ゴミの削減	—	130kg/月 以下	1,560kg/年 (130kg/月)	100%実施	○

※評価： 目標達成…○ 目標未達成…×

^{注)} 電力由来の二酸化炭素の排出係数は、2022年2月に環境省が公表した「電気事業者別排出係数」から東京電力エナジーパートナー株式会社の調整後排出係数『0.447kg-CO₂/kWh』を使用しました。

【総合評価】

1 電力使用量の削減

今年度は1年間を通して電力使用量は安定した使用量で推移し、単月、累積ともに目標値を逸脱することなく順調に活動を終えた。

2023年度の活動実績は目標比20.0%削減の1,090kwh/月（13,075 kwh/年）で目標を達成した。次年度へ継続する。

2 軽油使用量の削減

2023年度活動実績は目標比2.3%削減の10,403kℓ/月（124,830ℓ/年）で目標を達成した。しかし、年間を通して累積目標は未達はなかったものの単月目標でしばしば目標未達が発生している。次年度は月次管理をしっかりと行う。

※ 二酸化炭素排出量の削減

参考目標の二酸化炭素排出量の削減は、目標比3.3%削減の26,770kg-CO₂/月（328,304kg-CO₂/年）で、目標を達成できた。

参考目標値ではあるが、軽油使用量の削減テーマを通じて、次年度も目標を達成できるよう、注力する。

3 廃木材、廃建築木材（有価物）受入量の拡大

順調に受入量は拡大した。目標比55.0%拡大の1,531t/月（18,373 t/年）で目標達成。事業の根幹となる活動であるので、積極的に次年度も推進する。

4 水使用量の削減

水使用量は年間を通して目標の逸脱はなく順調に推移した。

目標比11.9%削減の53.0m³/月（632.0m³/年）で目標達成。

次年度も引き続き推進する。

5 事務所ゴミの削減

分別の徹底及び廃コピー用紙の再利用に努めている。年間を通して前月渡り活動を実施し、目標を達成した。次年度も推進する。

6. 環境経営計画への取組結果と評価及び次年度の取組

2023年度の取組結果（活動期間：2023年5月1日～2024年4月30日）

環境経営目標		取組	結果	次年度の取組
1	電力使用量の削減	①不必要時の照明の消灯	○	継続する
		②ITリ温度設定の適温化	○	継続する
2	軽油使用量の削減	①重機作業の効率化	○	継続する
		②空ふかしの禁止	△	継続する
		③破碎機の効率運転	△	継続する
＊参考 二酸化炭素排出量の削減		上記 1， 2 の削減活動を以って取り組む	○	継続する
3	廃木材、廃建築木材 （有価物）の拡大	①新規顧客の獲得	○	継続する
		②事業の積極的PR	○	継続する
4	水使用量の削減	①節水教育実施	○	継続する
		②適正使用	○	継続する
5	事務所ゴミの削減	①分別基準遵守の徹底	○	継続する
		②書類のペーパーレス化	○	継続する
		③裏紙の再利用	○	継続する

結果の記号：○----取組んでおり問題なし

△----取組んでいるが一部まだ問題がある

×----未実施

1 電力使用量の削減

電力使用量は主に事務所での使用量である。こまめに電源のON/OFFする以外節電は難しいが省エネ意識を植え付け、電力使用量削減へつなげる。引き続き推進する。

2 軽油使用量の削減

重機で行う構内作業が効率的に行うことができたが、空ふかしの禁止、破碎機の効率運転が十分ではなかった。次年度は徹底する。

* 参考 二酸化炭素排出量の削減

弊社の99%を占める二酸化炭素排出量は軽油由来である。”環境経営目標”の「2軽油使用量の削減」と「3廃木材、廃建築木材（有価物）受入量の拡大」は、受入量が拡大すると軽油使用量（作業量）が増加方向になるトレードオフの関係にある。

したがって、軽油使用量及び電力使用量の削減を行うことで、付帯的に二酸化炭素排出量の削減につながることを考慮して、両活動の結果の参考目標として取り組んでいる。

今後も重機作業の効率化等の手段の徹底し、二酸化炭素排出量削減に寄与する。

3 廃木材、廃建築木材（有価物）受入量の拡大

廃木材の受入量は順調に拡大している。今後とも積極的に推進する。

4 水使用量の削減

環境影響は大きくないが、節水教育等は継続実施する。

5 事務所ゴミの削減

分別の徹底、ペーパーレス化の努力を行い、現状より増加しないように努める。

7. 次年度（2024年度）の環境経営目標と環境活動計画の内容

2024度（2024年5月～2025年4月）

環境経営目標		基準年度 (基準値)	目標	目標達成手段又は環境活動
				2024年度
1	電力使用量の削減 2021年度事業所の電力使用量に対し2024年度までに3%削減する。 (2021年度電力使用量：16,680kWh/年)	2021年度 月平均電力使用量 (1,390kWh/月) 【16,680kWh/年】	達成 手段	3%削減（1,348kWh/月） 【16,176kWh/年】
				①不必要照明の消灯実施の徹底 ②エアコン温度の適温化
2	軽油使用量の削減 2021年度軽油使用量に対し2024年度までに3%削減する。 (2021年度軽油使用量：10,868kℓ/月)	2021年度 月平均軽油使用量 (10,868ℓ/月) 【130,421ℓ/年】	達成 手段	3%削減（10,542ℓ/月） 【126,504kℓ/年】
				①重機作業の効率化 ②空ふかしの禁止 ③粉砕機の効率運転
参考	二酸化炭素排出量の削減 2021年度排出量実績： 346,333kg-CO ₂ /年	2021年度 年間排出量 (28,861kg-CO ₂ /月) 【346,333kg-CO ₂ /年】	達成 手段	3%削減（27,995kg-CO ₂ /月） 【335,943kg-CO ₂ /年】
				上記1，2の削減活動を以って取り組む。
3	廃木材、廃建築木材（有価物）の受入量の拡大 2021年度廃木材、廃建築木材（有価物）受入量実績値平均969t/月に対し、市場動向を鑑み、2021年度実績値に対して2024年度までに3%拡大する。	2021年度 廃木材、廃建築木材（有価物）実績値 (969 t /月) 【11,628 t /年】	達成 手段	3%拡大（998t/月） 【11,976t/年】
				①新規顧客の獲得 ②事業の積極的PR
4	水使用量の削減 2021年の水使用量の実績値736m ³ /年に対して2024年度までに3%削減する。	2021年度 水使用量実績値 (61.0m ³ /月) 【736m ³ /年】	達成 手段	3%削減（59.2m ³ /月） 【710.4m ³ /年】
				①節水意識教育実施 ②適正使用
5	事務所ゴミの削減 130kg/月 以下に努める。	現状維持 130kg/月以下	達成 手段	現状維持
				①分別基準の順守を徹底する ②書類のペーパーレス化 ③裏紙の再利用

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年04月に遵法状況を確認した結果、環境関連法規等の違反はありません。

また、関係当局より違反、訴訟等の指摘もありません。

主な、環境法令等は次の通りです。

・消防法 ・道路運送車両法 ・労働安全衛生法 ・オフロード法

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度活動は大きなトラブルなく活動を終えることができましたが、2年目となるエコアクション21活動の要点の理解はまだまだと感じています。

次年度は3カ年計画の期末年度となり目標値はさらに厳しくなりますので、月次の活動結果をしっかりと管理して、目標の逸脱はないように進捗していきます。

なお、システムは問題なく機能していましたので、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制に変更はありません。